

世界史(World History)

担当教員名	荒川 裕紀	
学科, 科目詳細	都市システム工学科 1年 通年 一般科目 必修科目 2単位 講義	
学習・教育目標	(C) (H)	
科目の概要	現代社会で生活する以上、近現代史の理解は必要不可欠である。日本を含めたアジアおよびヨーロッパ、アフリカそして中東の19・20世紀の歴史を理解し、現在世界で起こっている諸問題の歴史的過程を明らかにする。	
テキスト(参考文献)	岸本美緒他『新世界史』山川出版社 『ニューステージ世界史詳覧』浜島書店	
履修上の注意	映像資料を含めた資料・史料を使い授業を展開する。プリントなどは適宜配布予定であるが、教科書・ノートを毎回準備すること。自学自習を欠かさず行って、自ら歴史から考えていくという姿勢で臨んでもらいたい。	
目標達成度(成績)の評価方法と基準	合格の対象としない欠席条件(割合)	1/3以上の欠課
	・ 期末試験および定期試験70% ・ ノート（特に流れの理解のためにメモ欄を重視する）および提出物20% ・ 夏期レポート10% ・ 60点以上を合格とする。	
連絡先	arakawa@akashi.ac.jp	

授業の計画・内容	
第1週 帝国主義とは	
第2週 中世以降のヨーロッパ諸国の植民活動	
第3週 アフリカ分割	
第4週 清朝の弱体	
第5週 太平天国と洋務運動	
第6週 日清戦争・变法自強運動	
第7週 日露戦争と辛亥革命	
第8週 中間試験	
第9週 普仏戦争・ドイツの統一・ビスマルク外交	
第10週 三国同盟と三国協商	
第11週 バルカン半島・民族のモザイク	
第12週 第一次世界大戦・大国の思惑と民族主義	
第13週 五四運動・国共合作	
第14週 満州事変・西安事件	
第15週 エンジンアができる国際開発とは・エッセイコンテストに向けて	
期末試験	
第16週 ムガル帝国の凋落・インドの植民地化	
第17週 インド国民会議の成立・ガンディーの登場	
第18週 塩の行進からインド独立	
第19週 19世紀以降のロシアの改革	
第20週 ロシア革命	
第21週 ベルサイユ体制とワシントン体制	
第22週 アメリカの繁栄・黄金の20年代	
第23週 中間試験	
第24週 世界恐慌・ブロック経済	
第25週 ナチスドイツの成立	
第26週 第二次世界大戦	
第27週 東西冷戦	
第28週 中華人民共和国の成立・大躍進	
第29週 文化大革命・改革開放	
第30週 朝鮮半島の近現代史・スタディツアーに向けて	
期末試験	